

1962年生まれ、帯広市出身。短大卒業後、病院関係に勤めた後、結婚し退職。2人の子育てが落ち着いた1993年に同法人の帯広光南病院に就職。障害者支援施設勤務を経て2012年から現職。2010年から法人の職場環境作りを検討する労働環境検討委員会委員長。



全ての職員がいきいきと長く働ける職場を作りたい

きっかけ

2人の子どもの子育てがちょっと落ち着いた頃、仕事をしたいなと思い、同居していた母の手も借りながら働くことにしました。人と関わることが好きなのだと思うのですが、不思議と辞めようと思ったことはありません。2010年、ワークライフバランスという言葉が出てきた時期、せっかく育てた職員が結婚や出産で辞めてしまうのが法人としては非常に大きな損失だということもあり、職員が長く働ける仕組みづくりをするようにと、理事長の考えもあり、法人内に労働環境検討委員会を設置して職場環境の改善について取り組み始めました。

満足度

労働環境検討委員会で様々な改善策を考えて法人に提案するのですが、理事長の理解もあり、結婚・出産を迎える職員だけではなく、長く働いている職員を対象とした休暇や報奨金を制度化するなど、全ての職員にとって働きがいのある職場になってきたと思います。自分も長く働いてきたので、今いる人達にも長く働いて欲しいと思っています。また、福祉の職場は「夢かなえ人」でなくてはならないと思っています。障がいのある方でも、ちょっとしたことができるようになる、皆で頑張ると、そんな瞬間を見られるところにやりがいを感じます。

苦勞

私は法人で2人目の女性施設長職としての管理職になります。大先輩が先に道を切り拓いてくれたので、そういう意味ではやりやすかったです。管理職になったからには当然、男性と同等に会議でも発言しなくてはならないですし、施設の経営・管理に関しても勉強していかなくてはならないということは大変だと思います。病院勤務時代は、月末月初や休日当番医の際の出勤など、大変でしたので、夫と母の協力がなければ、仕事を続けるのは難しかったと思います。当時は子の看護休暇などもなかったですし、私より上の年齢の職員は、今の人は恵まれていいよねと話しています(笑)

これから

ここまで仕事を続けてくることができたのは、私を育ててくれた上司や周りのスタッフに恵まれたからだと思います。副施設長から施設長になった時に、それまでは上司に守られていたのだと痛感しました。でも、はじめは自分にできるのかなと思ったことでも、立場が人を作るという言葉どおり、できるようになるものだと感じています。これからも仕事は続けていきたいですね。長く勤めさせてもらっている法人の役に立ちたいと思いますし、若い人やこれから働く人達にも、自分と同じく、やりがいのある仕事を長く続けていって欲しいと思っています。

石の上にも3年ではなく5年だと若い人には言っています。5年頑張ればどんなことでも乗り越えられます。一緒に働く仲間がいればきっとやっていけるので、結婚や出産で辞めてしまわないで、是非とも続けて欲しいです。仲間は待っていてくれますよ。